

炭 竈 ふ く 代 議 員



JR及び名鉄弥富駅前整備 計画凍結の理由は

問

JR及び名鉄弥富駅前整備計画凍結について聞く。
(1) 凍結の理由は。
(2) 今後の駅前整備に対する考えはどうか。

財源不足により事業の優先順位を精査

答 市長

(1) 後期第1次総合計画のさまざまな事務事業には、白鳥保育所、新庁舎の建設事業等の投資的な経費、さらに、東日本大震災から2年経過する中、防災・減災計画の課題がある。また、生活保護を中心に扶助費の社会保障関連経費が伸びている状況である。一方、25年から28年にかけて約2億5千万円の財源不足が

生じてくる。また、29年以降はさらに財源不足の増加を予想している。こうした状況を踏まえ第1次総合計画の後期の中で実現することは不可能と判断した。

(2) 市として努力を重ね、この事業が後期の第1次総合計画の中で取り組めればと思っている。

学校環境改善整備は進んでいるか

問

小・中学校トイレの洋式化について聞く。

(1) 児童・生徒用トイレの洋式化率は。

(2) 教職員用トイレの洋式化率は。

(3) バリアフリー化計画については。

順次バリアフリー化を進めている

答 学校教育課長

(1) 小学校は30%、中学校は33%です。

(2) 小学校は19%、中学校は57%です。

(3) 校舎の改修時や肢体不自由児の状況を踏まえ順次バリアフリー化の推進に努めていきたい。

学校給食の食物アレルギー対策は

問

学校給食について聞く。

(1) 食物アレルギーに対する取り組みと対応は。

(2) アドレナリン自己注射薬(エピペン)【】の対処はどうしているか。

 アナフィラキシーを起こす危険性が高い者に対し、緊急時に病院受診する前に使用する薬として、事前に医師が処方する自己注射薬。アドレナリンという成分が充填されており、すべてのアレルギー症状を速やかに抑制する効果がある。

教職員全体で取り組んでいる

答 学校教育課長

(1) 市独自のマニュアルに基づき、小学校入学前の園児は、健康やアレルギー疾患に関する調査票を作成、入学前に保護者と面談を実施している。在校生は、年度末に保護者面談の上、新年度からの対応を決定している。3月中にアレルギー疾患を持つ児童・生徒のリストを作成し、全職員でその対応を認識し、給食に備えている。

(2) 保有者は、小学生2名、中学生1名。小学生は、学校で保管し、中学生は本人が持参している。

各学校では食物アレルギーの研修会で、使用法の理解を深め、特定の者だけでなく、教職員全体で対応。